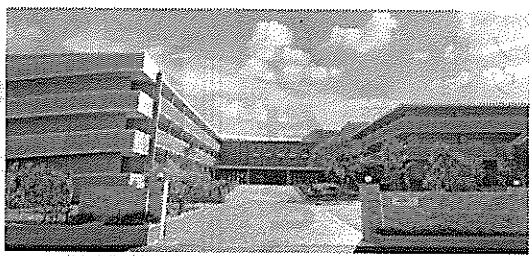


寿恵会が2棟目開設

26年ぶり湘南に



大和ハウスグループの米から60平米とゆったり寿恵会(静岡興熱海市)とした面積をとった。共用は住宅型有料老人ホーム部分を充実させたほか、「ネオ・サミット茅ヶ崎」「環境、防災、健康」面(神奈川県茅ヶ崎市)をにこだわった。

開設し、11月29日にオープニングパーティを開催。屋上に太陽光パネルをプリングパーティを開催。設置し、共用部分の照明にはLEDを採用。防災した。

同社は1986年に1棟目を開設しており、ネオ・サミット「ブランド」はどの災害時には地域住民が同施設屋上に避難できるよう専用のスロープを介護型が50室の全110室に大和ハウス工業と



オープニングパーティの様子

TOYOが共同開発した「インテリジェンストイ」を採用。トイレ内で血圧測定、体温測定、尿糖測定ができ、健康管理を促進する。

オープニングパーティでは、大和ハウスグループの樋口武男会長が挨拶し、「寿恵会が2棟、今年6月に東京電力子会社から承継した3棟を合わせてグループでは5棟、後の有料老人ホームも83室体制になった。ネオ・サミットのような自立型から、承継した介護型までを運営し、ノウハウを蓄積しながら良い経営をしていきたい」と今

デンマーク研修を報告

東京海上日動サミュエル

東京海上日動サミュエル(神奈川県横浜市)は、9月30日から10月5日の日程で行ったデンマークアスタップの島山留佳ケア研修の社内報告会を、11月10日の場を設けて開催。同社幹部をはじめ、必要。今後は職員の話め、渡航した5名の研修生がそれぞれ学んだこと

第17回 動き出す中国政策

上海の街は尖閣諸島問題に際して、だいぶ落ち着きをとり戻した様に感じられます。いつ日中政府間交渉で火が付くか分らず予断を許さない状況ですが、上海に乗り込んだ日本の現地法人にとって足踏みはしていません。中国マーケットを考えると前進あるのみというところではないでしょう。

日本国内の停滞を打破するためにも、火中の栗ではないですが、リスクのない所にリターンは得られないことを日本人自身が気付き始めています。新規で中国に進出する企業も徐々に戻ってきています。画一では、90%は在宅、7%は民間の老人ホーム、3%は政府機関の老人ホーム

福祉政策問題山積み

日本と同じように在宅介護をベースに高齢者介護を考えていますが、今後高齢者のリハビリ、医療介護、生活支援、家事支援、認知症ケア、見守り、地域参加など多方面のサービスを提

中国の「9073」服務計画では、15年までに在宅サービスを基本としながらコミュニティをよりどころとする介護体制の構築を目指しています。

中国の「9073」服務計画では、15年までに在宅サービスを基本としながらコミュニティをよりどころとする介護体制の構築を目指しています。

中国の高齢者マーケット



ゲストハウス社長 松山英樹

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リポートシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

供するための環境整備が重要になってきます。また生活困窮者の高齢者を対象にした都市・農村生活保障制度の衣食住・医療・介護などの生活保護制度も整備され始めています。福祉政策に動き出した中国、シニアマーケットの拡大はまだまだ続きそうです。